新火葬場建設候補地が決まりました

「伊豆の国市韮山多田字七曲り９７４、９７７、９７９-１外
伊豆の国市韮山山木字滝之洞１２１７-２１、-４６、-４７外」

広報６月号でお知らせした「老朽化する長岡斎場に代わる、新たな火葬場整備」について、市ではこのたび、建設候補地を選定しました。

選定に至るまでの過程、今後の事業の進め方についてお知らせします。

問 市役所公共施設整備推進課
☎０５５（９４８）１４５１

◆ 候補地選定の手順

２段階の評価により候補地選定を進めました。一次選定では適合性、二次選定では適性を評価し、「より望ましい候補地はどこか」を選定していきました。

5月

施設整備基本方針策定

「斎場整備基本構想」を踏まえ、施設整備の基本的考え方について検討し、方針を策定

候補地選定基本条件および一次選定評価項目の設定

施設整備基本方針を基に、候補地選定の基本条件、一次選定評価項目を設定

6月

一次選定

一次選定候補地６カ所を選定

現地踏査

一次選定結果に基づき、現地踏査（地形の状況、周辺の住宅、公共施設、観光施設などの立地状況など）

二次選定評価項目および評価方法設定

施設整備基本方針を基に、候補地絞り込みの条件、具体的評価項目と方法を設定

7月

二次選定

評価項目および評価方法から、各候補地の適性を評価し、結果を確認

8月

報告書提出

新火葬場及び新し尿処理場建設候補地選定会議から市長に「新火葬場候補地選定に関する検討結果報告書」を提出

市による建設候補地選定

報告書を踏まえ、市で協議し、建設候補地を選定

◆ 候補地選定にあたって考慮した事項

●新火葬場及び新し尿処理場建設候補地選定会議

候補地選定にあたり、市民の意見を聴取するため、「新火葬場及び新し尿処理場建設候補地選定会議」を５月に設置しました。委員は区連合会の推薦者、現有施設所在区長などの市民 12 人です。市民意見を聴取しながら、候補地選定作業を進めました。

●施設整備基本方針

「施設整備基本方針」は、新火葬場の建設地や施設のイメージ、コンセプトとなる、最も基本的な考え方です。建設候補地選定にあたっては、これらの基本方針をもとに評価項目を設定しました。

1. 人生の終焉（しゅうえん）の場として、落ち着きとやすらぎを感じる施設づくり
2. 周辺環境に配慮した潤いある施設づくり
3. 人にやさしく、安心して利用できる施設づくり
4. 新たなニーズに対応できる施設づくり
5. 維持管理がしやすく効率的な施設づくり

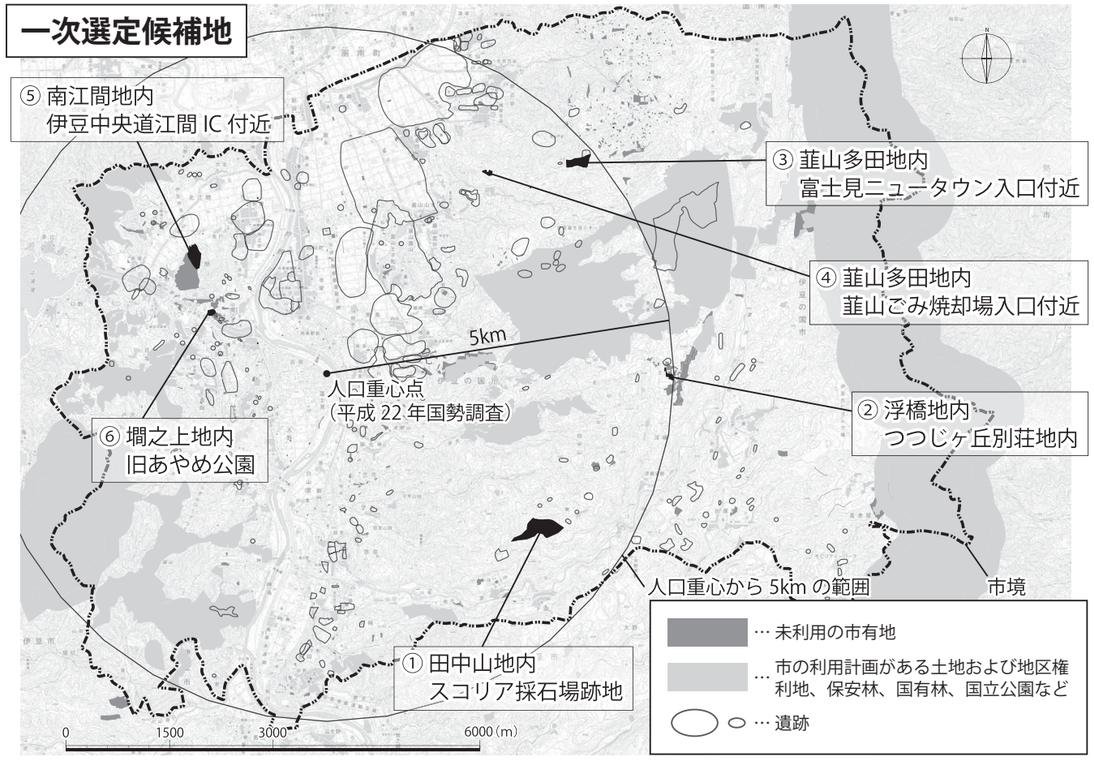
●積極的な情報公開

「新火葬場及び新し尿処理場建設候補地選定会議」を公開で実施したほか、新聞などによる報道、市ホームページへの資料・議事録の掲載、講演会の開催など、積極的に情報を公開しました。事業スケジュールに制約があるなか、できるだけリアルタイムに市民の皆さんに情報を発信しました。

▶会議の様子

◆ 一次選定

平成 26 年度に策定した「斎場整備基本構想」に基づき、施設面積、利用者の利便性、整備スケジュールに関連する４つの評価項目を設けました。そして、未利用市有地の中から絞り込みを行い、結果、６カ所の候補地を選定しました。



◆ 選定結果

新火葬場及び新し尿処理場建設候補地選定会議による「新火葬場建設候補地選定に関する検討結果報告」を踏まえ、市で検討した結果、以下の土地を建設候補地としました。

田方平野を一望できる建設候補地周辺

●選定理由

①周囲が緑地で囲まれており、富士山や田方平野を臨む眺望豊かな場所であること
②候補地選定の際に配慮すべき、学校などの教育施設、病院・医療機関ならびに民家などから離れた場所であること
③防災上優れていること
④インフラ整備費や用地取得費の概算総額費用が最も少額であり、経済性に優れていること

◆ 今後の進め方

建設にあたっては、年末を目標として、候補地に関わりの深い関係者や関係区から同意を得るため、現在、説明会や先進地視察を通じて協議を進めています。

また、市民の皆さんにも理解していただくため、説明会を開催します。ぜひご参加ください。

●新火葬場建設候補地選定に係る市民説明会

とき／**10月19日（水）** 19：00 ～ 21：00
ところ／**韮山時代劇場**　映像ホール

新火葬場整備全体スケジュール予定

（年度）

	H28	H29	H30	H31	H32	H33
事業候補地比較・検討	→					合併特例債期限
火葬場基本計画	→					
測量およびボーリング	→					
生活環境影響調査	→					
都市計画決定手続き		→				
火葬場基本設計		→				
火葬場造成設計		→				
火葬場造成工事			→			
実施設計・施工管理			→	→		
火葬場建設工事				→		
供用開始						→

※今回掲載した内容の多くは、選定会議の資料を一部再構成したものです。より詳細な会議資料、会議録などをご覧になりたい場合は、公共施設整備推進課（伊豆長岡庁舎）に問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

◆ 二次選定

施設整備基本方針に基づき、24 の評価項目を設け、117 点満点で採点しました。採点にあたっては、評価基準を設け、1 ～ 3 点の配点を基本とし、重要だと思われるものには、重み付けとして 2 倍の点数を配しました。

なお、基本方針 4 については、施設の設計に関連する側面が強いため、評価項目を設けていません。

（表中①～⑥は前ページ「一次選定候補地」の図で絞り込んだ 6 カ所の候補地）

基本方針	評価の視点	評価項目	配点			各候補地の評価結果					
			配点	重み付け	配点（重み付け）	①	②	③	④	⑤	⑥
1．人生の終焉の場として、落ち着きとやすらぎを感じる施設づくり	考慮すべき施設	観光等集客施設までの距離	3	無	3	3	3	3	3	3	3
	考慮すべき地域	都市計画上市街化区域内の用途が指定されている地域（工業地域）	3	無	3	3	3	3	3	3	3
		都市計画上市街化区域内の用途が指定されている地域（商業地域）	3	無	3	3	3	3	3	3	3
	落ち着いた環境	敷地周辺の自然環境	3	無	3	1	3	3	3	1	1
	眺望	眺望	3	有	6	2	4	2	6	2	6
		眺望が遮られる可能性	3	有	6	6	6	6	6	6	6
2．周辺環境に配慮した潤いある施設づくり	考慮すべき施設	学校等教育施設までの距離	3	有	6	6	6	6	6	2	2
		病院・医療施設までの距離	3	有	6	6	6	6	6	2	6
	生活圏の近接度	周辺の民家からの距離	3	有	6	2	2	6	6	2	2
	沿道環境への影響	幹線道路からのアクセス	3	有	6	4	2	6	6	6	6
	周辺環境への影響	造成工事による周辺環境への影響	3	有	6	6	4	2	4	2	2
		道路新設	3	有	6	6	6	6	6	6	6
3．人にやさしく、安心して利用できる施設づくり	安全性	活断層の有無	3	無	3	3	1	3	3	3	3
		土砂災害（特別）警戒区域の有無	3	無	3	3	3	3	3	1	3
		がけ条例に該当する崖などの有無	3	無	3	1	3	1	3	3	3
		浸水想定区域の有無	3	無	3	3	3	3	3	1	3
		出水等災害危険性の有無（候補地内の沢等の有無）	3	無	3	3	3	1	3	1	3
	利用者の利便性	市内の既存主要葬祭場からの所要時間	3	有	6	4	2	2	4	6	6
5．維持管理がしやすく効率的な施設づくり	インフラおよび土地造成費用	水道整備費の多寡	24	-	24※	18	9	8	24	3	4
		道路整備費の多寡		-							
		土地造成費の多寡（9,000㎡の平地の確保）		-							
	用地取得費用	用地取得費の多寡		-							
	維持管理の容易性	天候による影響	3	有	6	2	2	2	6	6	6
	整備の容易性	排水施設整備の容易性	3	有	6	4	4	4	4	4	4
			合計		117	89	78	79	111	66	81

※水道整備費、道路整備費、土地造成費、用地取得費の概算費用の合計額による相対評価
採点＝配点×（一番安価な申請地の費用÷当該申請地の費用）